

まなびすと久喜

第 4 号

編集：久喜市生涯学習推進部
発行：久喜市教育委員会

学校・家庭・地域の連携を

生涯学習・社会教育関係3団体の合同研修

今、多くの市民の皆さんは、自己啓発の生涯学習や、地域社会教育に、公民館活動を通じて関わっています。仕事の一線を退いた方は、何らかの形で生涯学習や地域社会教育（主として公民館）活動に参加されています。

久喜市は、市民の学ぶ意欲に応える為、市民大学、高齢者大学を設置し、また、公民館の講座等を開講しています。このような場以外でも、市民の皆さん自ら共通の趣味、教養、スポーツ等を通じて、それぞれ自己啓発をされています。

このような市民の学習、地域参加を支援する組織として、久喜市生涯学習推進会議、久喜市生涯学習推進部と久喜市社会教育委員があります。生涯学習推進会議は市の生涯学習の指針を作り、生涯学習推進部が実践部隊として生涯学習の運営に携わっています。一方、社会教育委員は、学校教育を除く成人、青少年の学習を公民館活動等を通じて、地域で取り組んでいます。



機会がありませんでした。「市民の生涯学習、社会教育を活性化するには、相互理解が必要である」との認識から、4月に第1回社会教育3団体合同研修会を「生涯学習活動・社会教育活動をすすめるよう」というテーマで行いました。

研修の成果は、3団体の相互理解が出来、市民の学習意欲に応え、地域活性化の為の社会教育活動、「学校・家庭・地域の連携」を継続して探っていくという事でした。

(生涯学習推進会議議長 平忠昭)

久喜市 生涯学習施設 紹介

- ★場所 久喜市栗橋中央2-7-1
- ★電話 0480 (52) 0061
- ★アクセス JR宇都宮線栗橋駅東口 徒歩10分
- ★休館 毎月第3金曜日・年末年始 (12月28日～1月4日)



栗橋公民館

栗橋地区

栗橋地区の生涯学習推進の拠点施設として、公民館運営委員が企画運営に参画し、A101号室、A102号室、和室会議室、研修室、調理実習室、ミーティングルーム、体育館等を有し、地域に密着した事業を実施しています。

鷺宮公民館

鷺宮地区

市民の生涯学習の場として、憩いの場として、語り合う場として多くの方に利用されています。公民館事業等を通じて仲間づくりや地域づくりを推進することを目的としています。会議室3部屋、ホール、和室、創作室、実習室等を備えた公民館です。



- ★場所 久喜市鷺宮6-1-4
- ★電話 0480 (58) 8144
- ★アクセス 東武伊勢崎線鷺宮駅 徒歩約20分
- ★休館 毎月第4月曜日・年末年始 (12月28日～1月4日)

サークル紹介

久喜YOSAKOIソーラン喜楽楽

久喜地区



「街が元気・人が元気」

連絡先
久喜YOSAKOIソーラン喜楽楽
代表 山谷 信義
携帯 090-8187-2922

「街が元気・人が元気」を合言葉に、地元のまつりや福祉施設への慰問から、県内外への遠征まで年に20回以上よさこい踊りを楽しんでいます。
平均年齢はけっして若くはありませんが、元気だけはどこにも負けません。チーム結成6年目にして、欲しくてたまらなかつたチームオリジナル新曲の「きらら」が完成しました。我が市には天明3年（1783年）から230年あまりの歴史を誇る関東一の久喜提灯まつりがあります。
昼間の神武天皇、日本武尊などの人形山車が、夜は一転、数百の提灯に飾られた提灯山車に変身します。
この踊りで、赤々と炎のように勇壮に廻る提灯山車がイメージできればと願っています。練習は毎水曜日午後7時から、久喜南中学校体育館で実施しています。
よさこい踊りに興味がある方は気軽に遊びに来てください。
都合で練習が中止のときがありますので、連絡をとってからお越しください。

寺田婦人サークル

菟浦地区



「楽しみながら、活動を！」

連絡先
寺田婦人サークル
代表 野本 達子
携帯 080-5414-9928

私たちのサークルは、平成3年に結成され、以来20余年楽しみながら活動を続けています。ここ寺田団地は、30数年前に造成された新興住宅地域であり、数名の主婦が困った時に助け合いの仲間作りとして30名の会員で設立されました。
食事会やバス旅行、バザーを開き収益金を福祉関係に寄付、老人施設での作業や手芸の指導、また行政からの依頼によるボランティア活動を通し会員の交流を図ってきました。
菟浦町がラベンダーで町おこしを始めてからは、社協の管轄の中で「ラベンダーまつり」に出店し、皆で工夫して作製したラベンダーグッズを販売、収益金を寄付しています。
良く干したラベンダーを使い、地区の集会所の一室で、流れ作業で作る作品は半年で10種類ほどになります。毎回昼食はお弁当を取り、手づくりの味噌汁と漬け物で楽しいひとときとなります。
私にとってサークルは「おしゃべりの場・情報交換の場」として大切な所です。秋にはバス旅行も計画、充実した活動を行っています。

第3回まなびすとフォーラム（生涯学習研修大会）

大会テーマ 『あなたにとって学校支援・協力とは』

6月9日（土）県立栗橋北彩高等学校で開催されました。

平忠昭生涯学習推進会議議長の開会挨拶に続き、田中暄二久喜市長、戸ヶ崎博久喜市議会副議長、高杉雅章栗橋北彩高等学校校長の3氏から来賓挨拶をいただきました。

この日の参加者は社会教育・学校関係者、PTA役員、ゆうゆうプラザ関係者、中高生・大学生、市民大学、高齢者大学生に加え一般市民の方々など約170名。全員が16分科会に分かれ、大会のテーマに沿って熱心なディスカッションが展開されました。中高生・大学生から学校現場やPTAのお母さん達、仕事をリタイアし地域に貢献したいと意欲満々の高齢者軍団と、幅広い年代層のグループ討議はさまざまな意見が飛び交い、これまでにない活気溢れるワークショップとなりました。



討議内容の報告発表では「身近なボランティア活動で仲間づくり、地域力アップをめざす」「学校-公民館-自治会の連携で子ども達を見守り、育てることが大切」等、日頃の地道な取組が述べられました。

金子雄司生涯学習推進部委員長の閉会の辞で研修大会は無事終了しました。

なお、このフォーラムの報告書は、4地区のまつり「コスモスフェスタ」「久喜市民まつり」「菟浦産業祭」「栗橋やさしさ・ときめき祭」の生涯学習推進部ブース及び来年2月開催の「まなびすと久喜」に展示します。